

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」豊明校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日		2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53名	(回答者数) 48名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 2日		2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育	マンツーマンを基本とした個別療育を行い、社会に出た際に必要である調理や買い物などをプログラムに組み込み、支援実施	法人研修や外部研修、他事業所の取り組みの見学など資質向上をしていきたい
2	若手職員が多いため児童との年齢差が抑えられ、良好な信頼関係が構築できている。	児童の特性に合わせて担当指導員を固定したり、複数担当制にしている。来たくないとならないようにゲームや工作など本人がしたいものをする時間を組みこんでいる	職員の経験不足を埋めるため、他校舎の支援見学などをして資質向上を図っていきたい
3	自立支援	お買い物や調理など今後、必要となる自立への支援の強化実施している	イベントなどの充実化をし実体験の機会を増やしていきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の各支援室の広さが狭い	個室化によって一部屋一部屋のスペースが狭くなってしまっている	取納場所などを考え少しでも広く確保できるように工夫をしていく
2	お子様同士の交流の少なさ	個別療育であるため他利用者との関わり合う機会が少ない	イベント活動を通して交流機会を増やしていく
3	防災訓練の周知不足	利用者による防災訓練の計画、周知不足(防災訓練は行っている)	イベント活動で消火訓練などを取り入れていき開催回数を増やしていきたい

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」豊明校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

53名

回収数

48名

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	10	3	0	少し、狭いが一人ひとり仕切りがあるのは良い	構造上、ご不便をおかけします。仕切りは引き続き継続させていただきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	42	4	0	0	担当の先生が変わってしまうので少し不安です	しっかりと引き継ぎをしていきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	46	0	2	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32	13	3	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	39	6	3	0	子どもをしっかり理解した上で支援をしてくれているので安心です	引き続き、専門性のある支援を心がけていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	34	9	0	5		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	42	0	6	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	6	0	5		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	45	3	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	38	7	3	0	プログラム内容の粒度が粗いのでもう少し細かく設定した方が良いと思う	プログラムの細分化に努めていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5	1	21	21		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	48	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	45	0	0	3		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	11	5	12		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	45	3	0	0	その日に行ったことを細かく説明してくれるいろいろなアドバイスももらえています	引き続き、共有を密にしていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	42	3	3	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	45	3	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	6	12	29			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	6	2	6		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	48	0	0	0	丁寧に相談に乗ってくれてとても助かっています	引き続き、お話をしながら情報共有していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	32	8	1	7		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42	3	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	42	3	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	9	5	5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34	12	1	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	3	0	13	そもそも怪我をしないのでわからないです	引き続き、怪我のないよう配慮しつつ、発生した場合は速やかに連絡、報告させていただきます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	48	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	43	5	0	0	先生に会えるのを楽しみに通っています	これからも楽しみに来所していただけるよう心掛けていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	45	3	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」豊明校			公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			1
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	規定を満たせるように配置している。	定員数に対する職員の配置は適切である。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	ドアノブに保護クッションを付けるなどの環境整備を行っている。	待合が入り口から遠く早めに来た際に生きづらいという意見があった		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	毎朝、職員で清掃を行い、清潔を保てるよう努力している。	物があふれることがあるため片づけをその都度意識して行う必要がある。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	部屋の間にはドアを設置するなど、必要に応じて環境を変化させられるようにしている。	吹き抜けのため無音にはならないため聴覚過敏には苦しい部分もある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	職員間で情報共有を行い、それを次に活かしていけるように努力している。	特に問題なし。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	アンケートで頂いたご意見をもとに、環境整備などに努めている。	環境とともに混雑時の対策改善を意識している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	職員で会議を行い、意見を伝えあうことができる機会を設けている。	特に問題なし。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	社内で内部監査を実施している。	現在、第三者評価は行っていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	月に一度以上、職員が研修を受けられる機会を設けている。	職員の業務負担の観点から外部研修の受講はハードルが高く難しい。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	支援計画の内容を保護者様に説明させていただいている。	特に問題なし。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	3	保護者様からの聞き取りを行ったうえで、計画等の作成を行っている。	さらなる改善を図っていきたい。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	計画を作成する際には、職員で話し合いを行う機会を設けている。	引き続き機会を設けて行っていく。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	計画内容を職員間で周知し、それに沿って支援プログラムを作成し、支援を実施している。	特に問題なし。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	利用時の様子などを観察し、確認を行っている。	特に問題なし。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2	記載されているねらいの内容を把握したうえで、支援計画の作成をしている。	「地域支援・地域連携」が課題。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	職員間で意見を出し合っている。	詰める部分はあるが問題はなし。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	プログラムの見直しを定期的に行うように努めている。	所々、見直しの強化は必要。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	個別活動が主であるが、必要に応じて集団活動の機会も設けている。	個別活動が主であるため集団活動の機会は少ないがイベントなどで取り組んでいけるようにする。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3	朝礼において、その日にご利用予定の方のお名前や部屋の割り振りなどの確認を行っている。	特に問題なし。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	職員間で情報共有を行う機会を設けている。	特に問題なし。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	支援終了後に記録を記入し、それを校舎で共有できるようにしている。	特に問題なし。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	3	保護者様への聞き取りなどでモニタリングを行う機会を設けている。	特に問題なし。引き続き、行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	「本人支援」や「家族支援」を組み合わせ支援を行っている。	特に問題なし。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	利用者様の想いなどを聴き取ったうえで、支援を行っている。	特に問題なし。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	5	管理者・児発管が会議に出席している。	可能な限り、担当指導員にも参加の促しをかけていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	5	発達検査の結果などを保護者様からお聞きし、共有させていただいている。	医療機関と直接連携はできていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	4	保護者様への聞き取りを通して情報共有している。	児童（保護者）都合によるバラつきはある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5	必要に応じて行っている。	児童（保護者）都合によるバラつきはある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	情報共有をできる体制を整えている。	必要に応じて行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	相談支援事業所との連携を通して、情報を共有させていただいている。	特に問題なし。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	交流の機会はないが、利用者様から児童館での過ごし方などを聞く機会はある。	必要に応じて行っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	地域の交流会に参加させていただいている。	特に問題なし。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	支援の情報等を共有し、その都度ご相談させていただいている。	特に問題なし。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	相談支援のご利用などを通して行っている。	特に問題なし。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	契約時や変更があった際に説明をさせていただいている。	特に問題なし。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	保護者様のご要望や利用者様の想いを聴き取ったうえで作成している。	特に問題なし。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1	保護者様に説明を行い、同意を得ている。	特に問題なし。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	お話しを頂いた際には、相談支援のご利用などを通して行っている。	特に問題なし。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5	きょうだい同士の交流はご利用の際などに機会があり、支援を行っている。	保護者同士の交流は自発的な意思にお任せしている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	頂いた内容について職員間で共有し、解決や改善に向けて話し合っている。	特に問題なし。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	ブログを通して、事業所の様子を発信している。	特に問題なし。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	鍵付きの保管庫で管理を行っている。	特に問題なし。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1	状況に応じて配慮を行っている。	特に問題なし。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	まだ機会は設けられていないが、交流の場は必要であると思っている。	受け身姿勢であること。時間が合わない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3	職員間で周知している。訓練は定期的に行っている。	必要に応じて行っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3	定期的に避難訓練や防災訓練を行い、意識を持つ機会を設けている。	特に問題なし。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	事前に確認を行っている。	特に問題なし。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	必要に応じて配慮させていただいている。	特に問題なし。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3	安全管理について職員で話し合い、安全に支援を行うことができるようにしている。	特に問題なし。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	4	避難経路や避難場所などを保護者様に周知している。	特に問題なし。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	ヒヤリハットの場面を職員で共有し、再発防止に努めている。	特に問題なし。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	定期的に研修を受けている。	特に問題なし。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	計画に記載し、説明を行っている。	特に問題なし。	